

次期総合計画タウンミーティング（西区） 開催報告

1. 日 時 : 平成 30 年 11 月 8 日（木） 18 : 30～20 : 23
2. 場 所 : 西区役所講堂
3. 出席者 : 河村市長、伊藤西区長、総務局松雄企画調整監、総務局難波企画部長、
総務局鈴木企画課長
4. コーディネーター : 池田 哲也氏（（一社）地域問題研究所主任研究員）
5. 参加者 : 73 名
6. プログラム
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ
 - (3) 名古屋市次期総合計画中間案の説明（映像）
 - (4) ご意見・ご提案の聴取
 - (5) 閉会

7. 発言の記録

○市長あいさつ

【市長】

- ・ようおいでいただきまして、ありがとうございます。サンキューベリーマッチということでございます。
- ・今日のこれ、中間案と書いてありますけど、そのとおりでございまして、ぜひ遠慮されずにいろんな提案やらご意見、質問でもいいですけど、出していただければありがたいと思います。
- ・西区でございますので、西区はあれですわね、特に皆さん仲がええわね、西は。特に昔のお嬢さんがみんな仲ええんですわ、西区は。そういう印象が大変強いんですけど。それと、やっぱり名古屋城のすぐ横でございまして、ものすげえ歴史があるところということでございますので、そんなことも踏まえていただいて、どうぞいろんなご意見をお寄せいただきたいと思います。
- ・そんなことで、サンキューベリーマッチ。ありがとうございます。

○ご意見・ご提案の聴取

【コーディネーター】

- ・改めまして、本日の進行役を承りました地域問題研究所の池田と申します。どうぞよろしく願いいたします。座って進めさせていただきます。
- ・ただいまごらんいただきました中間案について、早速皆様からさまざまな角度でご意見、ご提案を伺っていかうと思います。
- ・先ほど司会の方からもご案内ありましたが、おおむね 20 時 10 分 15 分ぐらいまで、80

分ほどお時間ございますので、ぜひそれぞれの将来像についてご関心のあるところをご意見いただければと思います。

- ・進め方ですけれども、大きく三つのテーマに分けまして、少し時間を区切りながら進めさせていただきますと思います。
- ・皆さんのお手元の資料ですと、先ほどご確認いただきましたこちらの「NAGOYA をつくりよう！」という資料をお手元にご準備いただけるとよろしいかと思いますが、こちらの5ページ、6ページに、今映像でもごらんいただきました5つの将来像がまとまっております。
- ・まずは、この見開きでいいますと左ページ、都市像1と都市像2の2つのテーマについて意見交換を進めていこうと思います。数名の方からご意見をお伺いしまして、その後、まとめて市からコメントをいただこうと思います。同様の流れで、2巡目については都市像の3と4の2つ、最後3巡目は都市像5、それから全般についてということで、そういった形で3つに区切って進めてまいります。まずは、繰り返しになりますが、左ページの都市像1、都市像2についてこれから進めてまいりたいと思います。
- ・ご発言いただくときですが、まずは挙手をいただきます。そうしましたら係の者がマイクをお渡ししますので、周りの方にも聞こえるようにゆっくりとご発言をお願いできればと思います。
- ・2点目、ご発言いただく際に、お名前とお住まいをおっしゃっていただければ幸いです。発言が終わりましたら、係の者がまたマイクをとりにお伺いいたします。
- ・今日も、周りを見ていただきますとさまざまな方、いろんな世代の方がお集まりいただいております。いろんな方から一人でも多くご意見をお伺いしたいと思いますので、最後のところ、3分以内でって思われるかもしれませんが、おおむね3分以内でご意見、ご質問をまとめていただけますと、ほかの方の発言時間もとれると思いますので、恐縮ですがなるべくコンパクトにご発言をお願いできればと思います。
- ・進め方のご説明はこれぐらいにしまして、早速ですが、まず都市像1「人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち」については、先ほど映像でもありましたけれども、健康あるいは救急、高齢者福祉、多文化、あるいは女性、さらにはコミュニティのテーマもこの中に含まれております。それから、都市像2「安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち」ということで、このタイトルのとおり、子育てや教育、若者、こういったキーワードでこの都市像2を扱っておりますので、こういったテーマでまずは第1ラウンド、意見を伺ってまいりたいと思います。よろしいでしょうか。
- ・それでは、これから早速皆様からご意見をいただこうと思いますので、ご意見、ご質問がある方、ぜひ挙手をお願いできればと思います。いかがでしょうか。
- ・今日は遠慮深い方が多いような感じでしょうか。ぜひこの将来像にまつわるところで。
- ・こちらの方、お願いいたします。

【1人目（西区）】

- ・よろしく申し上げます。
- ・最近思ったんですけど、非常に外国人の方が、このエリアですかね、お城が近いというのもあって民泊利用とかされている方とか結構いらっしゃるんですね。今、安倍政権

で、移民政策というわけではないとはご本人はおっしゃっているんですけども、やっぱり外国人がどんどん増えていくまちに名古屋もなると思うんですね。

- ・それに対して、この都市像1の「人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち」、都市像2「安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち」というのが堅持できるのかどうかというところをちょっと心配してて、その辺について何か名古屋市でお考えのことがあったら聞かせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございます。
- ・後ほどまとめてご回答させていただきます。
- ・いかがでしょうか、もう数名お受けできると思いますが。
- ・前の方、お願いいたします。

【2人目（中区）】

- ・住まいは中区になるのでちょっと、中区のほうで参加できなかったのこちらで参加させてもらいました。お願いします。
- ・最近、私の家の周りなんですけれども、一部の専門学校がたくさんできて、外国の学生さんがすごくたくさん増えまして、それとともに住まいも、近くで皆さんまとめて住んでいらっしゃるということも結構あるんですけれども、文化が違うので当たり前だと思ってしまうんですけれども、日本でのマナーとかいったところは逆に、個人が尊重されるのはもちろんなんですけれども、大事にさせていただきたいというのはちょっとありまして。
- ・交通マナーもそうですけれども、自転車に乗ってすごくたくさん活動的に動かれるんですけれども、皆さんよく並んで移動されるのでちょっと怖い思いをしたりとかいったのもあるので。尊重して、私も仲よくさせていただきたいという思いはあるんですけれども、ちょっと怖い思いもしているので、その辺とかも含めて、一緒に仲よく暮らせていけたらと思いますし。
- ・外国の方が増えてきて、いろんなところで助けていただいていると思うのでありがたい存在だとも思っていますので、そちらも尊重しながら一緒に、どういうふうにすると皆さんが住みやすいまちになるのかも、名古屋市とか区だったりとか、皆さんで考えていただけたらなと思います。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・最初のお二人は、外国人の多文化共生の問題ですね。
- ・全然別のテーマでももちろん結構でございます。
- ・前のお二人、順番に。

【3人目（西区）】

- ・こんばんは。初めて参加させていただきます。

- ・今小学生の子どもがいるんですけれども、「安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち」とあるんですが、子どもが産まれて赤ちゃんのときまでは何とかみんな頑張って育てていくという、区のほうもそういう面では協力してもらってはいるんですけれども、そこから先の小学校、中学校の公教育の底上げをもっとしたほうがいいんじゃないかなと。
- ・表面的なハードな、勉強の面ではみんな頑張ると思うんですよね。すぐにテストの点数が出るような、親もそれですぐ結果がわかるような教育はわかると思うんですけど、ソフトの面、例えば公教育でいったら親とか先生方の教育の指導方法というんですかね、ソフトの面のほうですね、ハードではなくて。人間力をつけていくというところで、本当に人間力って必要だと思うんですね。お勉強なんて後からやれば良いと思うし、興味がわかればやれば良いと思うんです。だけど、小学校、中学校で教師が子どもに教えるのに、人間力のない人が教えてもあまり響かないというか、問題ばかり起きる。
- ・今、公教育を見ると、自分たちを守ることでばかりな感じがすごくするんですね。それを、リーダーとしてとかガイド役としてしっかり引っ張っていくという方が少ないなという思いで、そういうソフトの面も名古屋市から提供してもらおう。そこは時間がかかると思うんですけど、そこを本当にやっていかないと、現場は大変なことになっているのが現状です。

【コーディネーター】

- ・特に問題だと思われるのは先生方、教員のそういった。

【3人目】

- ・そうですね、教員と親のやりとりがとっても問題だなと、見ていて思います。意識の違いというか、自分の立場に立ったことを言う人が多いなというのがすごくあって。ハード面ではいろんなものを提供してもらおう、英語教育だったりとかプログラミングとか。それはハード面なので誰でも教えられると思うんですけど、もっといくとソフトの面を本当に育てていかないと、これから名古屋を担っていく子どもたちを本当の意味で育てるのはできないんじゃないかなと。その辺も何か一緒にできたら親としていいなと、何かご提案があったらお願いします。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・もうお一人二人。
- ・お願いいたします。

【4人目（西区）】

- ・よろしくお願ひいたします。
- ・あまりにもスローガンが立派過ぎてなかなか質問しにくいんですけど、具体的な施策が出ていないから、それがあってもっと質問しやすいかなと思うんですけど、現状ではまだ中間ということではなかなかそれはないから、自分なりに1つ提案といいますか、こ

うあるといいなということをお話しさせていただきたいと思います。

- それは、先ほども出ていましたけれど、65歳以上のいわゆる高齢者の方の人口が非常に多く、逆ピラミッド人口現象となっておりますから、そういった方、自分が思ったのは隔世交流といいますかね、孫とおじいちゃんおばあちゃん。隔世交流のところで、例えば地域のたくみという方が高齢者の中にはたくさんみえると思うんですよね。自称たくみの方でもいいんですけれど、工作が得意だとか話し方が得意だとか書道が得意だとかお花を生けることが得意だとか、この65歳以上の人っていうのは、それ自慢なんですけれどなかなか自分からPRしたくないというところがありますから、そういったところを上手にくすぐってあげて、それを学校教育の中へ取り入れていただいて、地域のたくみの方に出前授業をしていただくことによって、孫とおじいちゃんおばあちゃんとの交流が非常に深くなっていく。そうすれば、必然的にその中間の親との交流も深まる。昔でいう両隣皆仲よしという形の図式ができあがるんじゃないかなと。
- そういったことをいろんな形で進めていけば、少なくとも名古屋からは「このくそじじい」「くそばばあ」という言葉はなくなると思います。ですから、ぜひそういったことも取り入れていただいて、将来目指す都市像の中の一環であつたらいいなと思います。よろしくをお願いします。

【コーディネーター】

- ありがとうございます。
- 今のご提案は、ひょっとしたら3人目の方の話ともちょっと絡むところがあるかもしれませんね。
- じゃ、一旦ここで区切らせていただきます。ただ、まだ後半恐らく時間あると思いますので、また第3ラウンドでこの将来像1、2のこと、もしあればまたご発言いただけますので、一旦まずはここで区切らせていただこうと思います。
- 先ほど4名の方から。
- 最初のお二人の方からは、多文化共生、外国人との共生のあり方についてのご質問、ご提案だったと思います。
- 後半お二人の方からは、教育にかかわるところでしょうかね。特に3人目の方からは、公教育における生きる力というか、人間力をいかに育てていくのかというご発言でしたし、4人目の方からは、世代間の交流、隔世交流、それが高齢者ご本人の生きがいにもなるし、子どもたちの学びにもなるんじゃないか、講師として登用したらどうかといったご提案だったかなと思います。
- 市長、まずはお願いいたします。

【市長】

- ありがとうございます。
- まず、1人目の方。外国人が多いと、これ、本当に権利を守ってけるんだらうかと、日本人のね。これは今議論のところですけど、完全にシャットアウトすることは、そりゃできんですわな、こりゃやっぱ。そのほうが別個でええかわからんけど、やっぱ時代も時代だしということで、政府の案も一応、限定はつとりますけど広げていくと。

- ・これは、2人目の方ともよく似とる。この間 NHK でやっと思ったのは、ボランティアを、外人のボランティアを求めると。言葉が通じんもんだでみんな。英語は結構多いですけど、スペイン語だろうがイタリア語だろうが、結構みんなおってですね、ベトナム語とか。みんなその外国人が、同じベトナムの人だったらベトナムの人たちのところを訪ねたり、そのコミュニティに行こうせないかんよとか、そういうのをやってみましたね、これ。これはわし大変ええなと思ったりしまして、例えばそういうような方法でいかんかなと、これ。繰り返してござるけど、やっぱりやりたい人おるみたいですよ。数日前ですわ、2~3日前の NHK でやってみましたね。募集したら結構あるということですね。それを、わし今1つ思っるところでございます。
- ・2人目の方も同じようなことで、いかんかね。日本人がようどんだけ言ってもよう、そりゃやるのはええけど、言葉が通じんいうのは痛いね、やっぱりこれは。だで、そのときは、テレビではベトナムの人やってみました。かなり結構みんな熱心にやってくれるよということをやってみました。

【2人目】

- ・それは、各家を回られてるんですか。

【市長】

- ・家を、家庭訪問まできちっとやっはなかったけど、いろんところでですね。やっとるかもしれんですけど、やってないとは言わなかった。だけど、いろんなコミュニティがありますんで、そこでベトナムの人がベトナム語でですね、みんなベトナムの同胞に対していろんなことをガイドしとったということで。これええなと思ったんです、私。というのが1つ。
- ・それから3人目の方について、これは本当にどえらい重要な問題で、もともと。ちょうど今日役所でやっはりましたけど、日本のやってきた画一斉型教育というんですけど、黒板の前に先生が立って、ずらっと並べて、ほんで同じことをやれと、ちゃんと言うこと聞けと、言うこと聞かんと内申点悪なるぞと、こういうやつ。それで、同じことやりますから、成績が悪くて落ちこぼれたら、そんでさようならということについては、明らかに時代おくれであるということで、来年の春。
- ・だけど、先生をまず教育せないかんのだわ、教師を。今、ユーチューブなんかで見てもらうとええですけど、イエナ教育というのがオランダでやっはりまして、そういうのにチャレンジしてこうかと、名古屋も学校で。
- ・どういのかいいたら、教室の中の机を廃止するんです、勉強机を。どうなるんだとなりますけど、それは生徒さんがおって、それからまた先輩なんかと一緒にやるんです、体の不自由な子なんかもみんな一緒になって、自分たちで合うようにみんなやってくと。先生がそれをアドバイザーみたいに見とると。だけど、全体の仕組みの、一定のこういうふうには持ってこいいうのがどうもある言っはりましたわ。だけど、個人がみんなやってく。
- ・そう言うと、普通の日本では、そんなことやったら先生の数がものすごい要ると言うんですけど、リヒテルズ直子さんだったかな、オランダの、この方なんかの書いてあるとこ

見ると、いやいやみんながお互いに教えようとするんで違うんだと、教師が出てきておまえ言うこと聞けというんじゃないんだと、このほうが実は成績のいい子もできるし、またちょっといかんかった場合は、学年でも要するにもう1年やるんですわ、結局。日本だと留年だとかいってえらいことになりますけど、外国の場合は全然問題ない。その子に合わせると、一人ずつのね。そういうやり方をもうやりかけとるということでございまして、日本まだこれからですけど、本当に。

【3人目】

- ・昔は、吉田松陰はそういう授業だった。吉田松陰が有識者でガイド役だった。ガイド役がむちゃくちゃ大事なんですよ。本当にないと、みんなを引っ張っていかない。

【市長】

- ・吉田松陰のころは、かえって昔は儒教ですね。儒教って、いわゆる聖職論ということで、そっちのほうが、かえってそれはそれでよかったんだけど、右倣えはええことないけど。そういうことを本当にこれ来年から名古屋でやってこうかと、日本で初めてだと、公教育でやるのは。
- ・それから、ちょっとそうでなくて、いじめのことばっかよう出ますけど、発達障害があったり、アスペルガーがあったり、そういう若干困難のある子どもさんに対しては、今名古屋でやってますけど、これはアメリカ型ですけど、向こうへ行くと先生が2種類あって、学校の中でもそうやってトレーニングしとるんですわ。教科を教える先生半分、あと半分あるんですよ、これ専業で常勤の専門職。何やっとするかと思ったら、体が不自由だけどころかこういうチャンスがあるよと、発達障害があるけどこうだよと、親が離婚して大変だけどころか、人生どうやって生きるかいうことを専門でやってます。
- ・4年前、5年前やっぱり名古屋でも、これいじめでしたけど子どもさんが亡くなって、アメリカのやつを勉強しに行きまして。初め役人は反対だったんですけど導入して、今125人。養成せなならんもんだでこれえらいことなんですよ、この苦労が。それで、この4年間ぐらいで子どもさんの応援した数7,200人です、これ。ものすごいですよ、子どもの悩みというのは。だで、そういうふうに根本はやっぱり変えてくと、画一斉型教育はまあ終わりというふうに。だけど、先生トレーニングせなかんから一遍には変わらんですよ、これ。えりゃあ、そういうのが要ると。
- ・それから、4人目の方のいわゆる孫との交流も、そういうようなことだわね、結局。じいちゃんが入ってっていろいろやりゃええわけですわ。

【4人目】

- ・今市長が言われたことも全て満たされる、地域のたくみがそこへ入ってくれば。

【市長】

- ・そういうことになる。

【4人目】

- ・語学の、お年寄りでもよく知ってみえる方たくさん。

【市長】

- ・たくさんおりますよ。

【4人目】

- ・普通訳だった、昔官の仕事をしていた人で、そういうものの補助をしたりとか、ボランティアで十分成り立つ。

【市長】

- ・だけど、これは実は革命なんですわ。何で日本でないかいったら、学校は教師のものであって、そういう河村さんが言っとるようなことやると教師でない人が入ってくると。本当のボランティアならええけど、常勤で来るのはかなわんと、校長だったり。そういうのが今までの日本の教育だったけど、やっぱり子どもさんのために挑戦してかないかん。こんだけやっとる名古屋でも、今年やっぱり何人か亡くなりましたわ、こんだけやっとるところでもね。
- ・だで、名古屋のスローガンとすると、「一人の子どもも死なせない名古屋」という強い宣言をして。そうすると、ものすごいやらないかんですよ。いじめがあったりというのも大きいけど、例えば転校してきた子がいると、これ予防的ケアと言うんですけど、そういうリスクがありそうなところへ一人ずつ、そのかわりそんだけやる人が要りますよと、養成してかないかんというんだけど、皆さんの税金で申しわけないけど、これを使わせていただいて、こういうものには一銭も惜しまないということで。名古屋だけです、聞いてもらえばいいけど。まだちょっと道半ばですけど、きちんと一人の子どもも死なせない名古屋と、やりますから。お願いします。

【コーディネーター】

- ・市長、ありがとうございます。
- ・お願いいたします。

【企画調整監】

- ・外国人の方の問題についてご提案をいただきました。ありがとうございました。
- ・私ども名古屋市にとりましても、外国人の方が急速に増えておりまして、今8万人ぐらいおみえになっております。それで、多くの方が転入されてきますけども、その半分が実は外国人の方が転入をされてくるものですから名古屋市の人口が増えていると、こんなような構図でございます。ベトナム人、ネパールの方が非常に多い状況でございます。
- ・ですから、今おっしゃっていただきましたように、これから多分外国人の方が地域の中で当たり前のように暮らされることとなりますので、これから10年といたしますと、どうやってコミュニティの中で外国人の方と日本人の方を融合させていくのかといった問題。それから、お子さんも外国人の方が増えてまいりますので教育を、その方の、お子さんの日本語がしゃべれない教育をどうするかという問題。

- ・名古屋は特に産業のまちでございますので、特に中小企業の方については労働力の不足がありますので、いかに技術を持った外国人の方を名古屋にお住まいいただいて雇用していくのかという問題もありますので、次の5年間あるいは10年間のこの計画の中で、教育の問題もそうですけども、外国人の方をどうするかというのは非常に重要な問題だと本市も捉えております。

【市長】

- ・言葉が重要みたいですよ。ベトナムの人にはベトナム人がやっぱりベトナム語でちゃんとこうだよって、自転車走るときはここ通らなかんよとかいうのをボランティアで求めると。結構応募あったみたいですよ、NHKでやっと思ったのは。

【2人目】

- ・それは、区だったりとか市でやってくださる。

【市長】

- ・ええ、それを今大量にやろうと言っとるんですわ。ええでしょ。思いますよ、わし。言葉が通じんとそりゃ難しいもん、これ。

【2人目】

- ・私、西新宿にずっと住んでてこの春引っ越しをしてきたんですが、新宿はもう当たり前のように外国人がというか、ほぼ外国人みたいな感じで。だけど、みんなそれが当たり前なので受け入れるんです。その景色が当たり前なので、受け入れることも当たり前。ただ、名古屋に戻ってきて思うのは、やはり閉鎖的なところがあるなというのはいさぐく感じます。
- ・だから、名古屋市ばかりに求める、これやってあれやってじゃなくて、私たち市民も受け入れる体制を持ちましょうねというスローガンもあってもいいんじゃないかなと。それはアメリカに行けば当たり前じゃないですか、多民族が。ここ名古屋もそういう当たり前をもっと市民のほうにも向けてもいいんじゃないかなと、皆さんの意識を変えていくのも必要なと、そこで名古屋市と市民が尊重し合って共存し合っていけばという意識はあります。

【市長】

- ・学区連協というところがあるでしょ、町内会長じゃなくて。あそこの中に外人はおらんわね、普通は。外人は普通おらん、今のとこ。

【1人目】

- ・1ついいですか。
- ・そもそもの問題が、何の準備もできていないのにだ一っと、考えなしに外国人を入れ過ぎちゃってる、労働力として使っちゃってるというところが大問題だと僕は思ってて、そこに関して何も規制がないので。そもそも日本って言えるんですかね。もちろん外国

人の方たちも、助けてもらってるし。

- ・去年かな、KITTE 名古屋ありますよね。あれ、ちょうど開業から1年たったんですけど、オープニングスタッフは全員日本人だったんですよ。ただ、1年たって、働いている人たちは外国人ばっか。人を安く買いたたくイコールグローバリズムというところがあって、日本は悪いことにそれを地で行っているところがあるんですよ。なので、本当に外国人の方たちを大切にしようと思うんだったら、その辺の労働環境とか。
- ・本当は、一番日本のあり方として僕が正しいと思うのは、日本人の賃料を上げて、もっと投資して日本人。外国の方が旅行してもらうのは構わないと思うし、日本はすばらしい国だと思ってるから。ただ、日本人が日本を旅行できるような形にしていけないと、日本がどんどんおかしいほうに行っちゃうんじゃないかなという、歯どめに関してあんまり語られていないんじゃないかなと僕は思うんですけど。
- ・産業界の要請があるのはよくわかるんですけど、その辺に対してしのぎ合いというか、ちゃんと話し合いがなされているのかどうかなって僕は心配になっているんですけど、どうなんですかね。正直なところをお聞きしたいなと思って。

【市長】

- ・だけど、例えば名古屋なんかトヨタの車を世界中に売って、ものすごいこれももうけるとのわけですね。世界の人のお金でね、これ。だで、若干そりゃ日本人だけでやるときや安全かもわからんけど、なかなかそれをね全面的に打ち出すというのはね、なかなかそりゃ苦しいけど。

【1人目】

- ・何とかできないですかね。日本人が働いて、デフレ脱却して、日本人の給料を上げてって。外国の方にももちろん働いてはいただくんですけども、そっちのほうに僕たちは振り切らないと、どんどん日本という国がなくなっていっちゃうんじゃないかなというおそれがあるんですけど、どう思われますか。

【市長】

- ・そりゃあええことだけどね、日本人の給料上げるというのは大変なことですけども。

【コーディネーター】

- ・なかなかここで全てお答えし切るのは難しいと思います。一旦区切らせていただいてよろしいですか。ほかのテーマで発言されたい方も大勢いらっしゃると思いますので、先に進めさせていただきます。
- ・続きまして、見開きの先ほどの将来都市像3と都市像4、この2つについてご意見を伺おうと思います。
- ・都市像3「人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち」ということで、消防、救急、防災、あるいは地域防災、こういったところまで含めたものでございます。都市像4「快適な都市環境と自然が調和したまち」ということで、これについては環境の話、低炭素あるいはリサイクル、そういったキーワードが後ろの重点のほうにも挙がってお

ったかと思えます。

- ・この2つ将来像にかかわるお話、ご意見、ご質問ございましたら、ぜひお願いしたいと思えます。まだご発言ない方も遠慮なくお願いいたします。
- ・ほかに手が挙がっていないですね。じゃ、お願いいたします。

【2人目】

- ・さっきの外国の方の話にもつながってくるんですけども、災害時とかに言葉がわからない方の避難とか、マップは日本語がやはり多いので。地下鉄とかでも何でもそうですけど、名古屋市地下鉄の出入り口、地方から来られると結構皆さんわかりづらいつてよく言われるので、そういうところから直していただいて、いざとなったときにも、言葉が通じなくても、標識を見ていただければちゃんと避難ができるというふうにまちづくりはしていただきたいと思えます。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・それは、住んでいる方も観光客も両方ですかね。
- ・いかがでしょうか。
- ・お願いいたします。マイクをお持ちします。

【5人目（西区）】

- ・こんばんは。
- ・都市像4のところ、「自然が身近に感じられ潤いがある」という点に少し引っかかっているんですけども。街路樹の問題って、地域住民の方と街路樹で落ち葉が大変だとかいうことをよく聞いたりするんですね。名古屋市内たくさん街路樹がありまして、その中でもやはりシデコブシの花が咲いていたりとか、あとナンジャモンジャが咲いていたりとかいうことで、東海丘陵要素植物って結構貴重な植物が街路樹なんかに使われているところを見るととてもいいなと思うんですけども、今後どのように街路樹を掃除されていくのかなということ。
- ・テレビ塔の耐震工事が、来年1月7日からもうテレビ塔に入れなくなると聞いていまして、それに伴って久屋大通公園が改修されるんじゃないかという話を聞いたんですけども。昭和29年にテレビ塔が開業して、その当時の写真を見ると全くあのあたり樹木がない状態で、今大変すてきな緑が広がっているところを、私も森林インストラクターという仕事をさせていただいております、皆さんをご案内することも多くあるんですけども、あれがなくなってしまうのかなと思うとちょっと心配があつて。せっかく「環境首都なごや」ということで打ち出されているところを、これから名古屋市内の自然環境をどのように考えられていくのかなということがとても不安です。
- ・名古屋市内の面積の大体5%が公園であるというのを、これ随分前のデータだったと思うんですけども、私は名古屋市内の面積全体の5%が緑というのはちょっと足りないかなと思っているので、その辺を伺いたいと思えます。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございます。
- ・こちらの方、お願いいたします。

【1人目】

- ・たびたびすみません、よろしく申し上げます。
- ・やっぱり街路樹むしろ減っていると思うんですね。江川線の通りを見ても、この大通り沿いを見ても、今も街路樹ばっさばっさ切ってる流れになってて。公園もそうですけれども。
- ・本当にこの都市像4というのがすごい漠然としてて。例えば、今名古屋市街中心、名古屋駅とか栄とかをもっと建蔽率上げてとか容積率上げてとか言っているんですけども、じゃあ逆にそれに対して見合った自然の例えば率、この名古屋のまち全体に対して何をもってして自然が調和しているのか、あるいはどれくらいあふれていれば自然が調和したまちなのかというのを。もしある程度頭でかたまっているならマップみたいなものをつくって、この辺を緑化していく予定だとか、真ん中にこういうものを見据えてこういうところに緑を増やしていく予定だとかいう形でまた説明していただけると助かるのかなと思いました。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・ほかの方、いかがでしょうか。
- ・今少し関連するご質問をいただきました。
- ・お願いいたします。

【6人目（西区）】

- ・都市の緑化ということにつながるんですけども。
- ・私、もともとオリジナルは名古屋人ではないのですが、名古屋に今住んでおります。
- ・外国で仕事することが多かったんですが、名古屋を自慢するときに「緑が多いんだよ」とか「きれいなんだよ」とか「道がすっきりしている」とか、いいことを言うんですけども、はて家の周りの街路樹を住民がどういうふうに扱っているかを思い出しますと、ちょっと前までは夏になると水やりを自発的にされる方とか、落ち葉があればまあまあ落ちたねと言って掃いているお年寄りがいらっしやったりとかいうのがごく普通にみえたんですけども、最近は市がお掃除してくれるんじゃないとかいう雰囲気を感じます。これはとても残念な姿じゃないかなと思って。
- ・市としてのランドデザイン、こういうマップが出ましたけれども、こういうイメージ、本当に全市で結構ですので、マップというか絵地図があって、ここの部分をこれを保つには町内の皆さんのこういう力が。具体的に例を出していただくと、区政の方もそうかここをお手伝いすればいいのかなという動き方の指針が見えてくるんじゃないかなと思って、外国でまた自慢できるようにしていただく方法、何かアイデアがございましたらぜひ伺っておきたいし、まだでしたらぜひそういうふうに進めていただきたいと思います。

ます。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・もう一方ぐらい、もしいらっしゃれば。いかがでしょうか。
- ・ほかの方のご質問を聞きながら、しゃべりたくなつたという方がみえたら私にサインを送ってください。よろしいですか。
- ・じゃ、少し関連するテーマもございましたので、一旦ここで区切らせていただきます。第2ラウンド、4名の方からいただきました。
- ・2人目の方からは、外国人のわかりやすい多言語表示とか案内、特に防災上の観点からということでご意見いただきました。
- ・5人目の方から街路樹、貴重な種類もたくさんあるということで、そこに対する今後の考え方とか、もう1つ、具体的に久屋大通公園大丈夫かと、そこを懸念されているというお話がございました。
- ・それから、1人目と6人目の方共通するところだったと思いますが、名古屋市としての具体的な緑化の方針、緑のマスタープランみたいなものがあつたでしょうかね、そういったランドデザインについて少しお聞きしたいということともう1つ、その中で地域に期待する役割、緑を大切に守っていくために、行政としてだけではなくて、地域にはこういうことをぜひということがあれば、あわせてぜひ教えていただきたいということがございました。
- ・市長、よろしいでしょうか。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・2人目の方、地下鉄の出入り口がわかりにくいと、外人にとって。これはちゃんとやらなかんわね、こういうことも。これ、前からわあわあ言つとるんですけど、あんまり国の文句言つとってかんけど、今みたいなやっぱり外国語しゃべる、外国人のボランティアを本当に募集してくと。
- ・それこそほんとはね家庭訪問ぐらいしろ言つとるの。特に港区なんかだと防災大変なんですよ、ビラ配つたつてわっからへんじゃないですか、そんなの。だで、港区で何人ぐらいおるんだ、250人かなんかおるもんで、特に港区なんかね全部家庭訪問して、外国人の皆さんに直接ですな避難所はこういうふうでつてやらんとわからんぞ言つとるの、これが。なっ。だけどこれが、自分で言うのもなんだけど、家庭訪問せんでかんわ、できん言つとるもん。何なんだいって今日でも怒つとつた、本当にという状況です。

【2人目】

- ・できない理由つて何ですか。

【区長】

- ・外国人の家庭訪問という話は今初めて聞いたんですけども、市長からは全ての家を全部

家庭訪問してこいというふうに、やったらどうだというお話は聞いております。

- ・我々としては、市民の声というか区民の声をいろんなところで聞くのは非常に大切なことで、いろんな形で聞いておるんですけども、全ての家を回るとなるとですね。実はブロック塀が倒れたときに、通学路沿いのブロック塀のある家に回ってブロック塀の安全性について点検してくださいねと、直すのであれば補助金が出ますよという説明をして回ったことがございます。
- ・そのときに 200 戸ぐらい回ったんですけども、それでも 9 日間かかって回っております。200 戸で 9 日間かかるというやつが、西区の世帯全部回るとなると、7 万 3,000 世帯ぐらいあるんですけど、とてもじゃないけどそんなことは労力的にできないということで、全部回るといのはちょっと勘弁してくれというお話をしているところです。

【市長】

- ・何人おるだ、西区役所。

【区長】

- ・西区役所は 230 人ぐらいです。

【市長】

- ・230 人でしょ。で、何世帯だった。

【区長】

- ・7 万 3,000 ぐらいです。

【市長】

- ・7 万 3,000 いうことは、割ると。すぐ計算できんですけど、そんなもん大したことないですよ、本当に。1 学区 10 人ぐらいおりますわ、みんな。みんなで行きゃあええんですわ、喜んでくれるでいって盛んに公務員に言っとんの。みんなね、区長も行くだわ自分で。わし区長だがいって、あんた区長かねってみんな喜びますよ。あんまり政治の話しちゃいかんけど、わしらはそれ基礎ですから、1 軒 1 軒回ってって話ししてくるというのは。それを公務員ができないというのはね、わしも失望してますよ、これ本当にといい話ですわ。まあまあちょっと、そりゃぼやいとってもいかんけど。
- ・5 人目の方の街路樹の話ですけど、これは本当にね、実は面積当たりの街路樹は名古屋が日本でトップだったんです、この間まで。実はこれ。だけど、この間大阪の堺に抜かれまして、だから 2 位になっております。そんなあるかと思うでしょ。ということはね、道が真っすぐだもんで。東京なんかだと曲がるとるもんだから向こうにある街路樹が目に入るんですわ。だで、向こうのほうが大きく見える。名古屋の場合は真っすぐ行くもんだから街路樹が少なく見えますけど、実は日本一、今は 2 位なわけです、これは。
- ・大阪の堺市何でつくったかいうと、石原裕次郎の白い街・名古屋がはやったときに、町中刑務所か病院みたいなのを建ててですね、市役所の人間が反発したいうかね、これではいかんって街路樹を植えに植えたと、で日本一になったということだけど、そうい

うふうにやっぱり受け取られてる状況だとやっぱり。問題は受け取られ方なもんで、日本一だといって力んどったって、肝心な名古屋市民がそんなええことないが言われとるではいかんもんで。

- ・わし前言ったのはミスター街路樹とかミス街路樹とか、そういうやつをみんな投票でやるとか。そういうのを、雰囲気盛り上げよまい言っとったんだわ、これ。だけど、やれせんもんで。やれせんではいかん、そういう楽しいことを。これもう一回ちょっと考えますわ、本当に。せっかく1位、2位だけでも、そういう認識を持たれていない。よう言っときます。
- ・テレビ塔の辺の問題だわ、これ。今日だわ、それ話ししとったのは。要するに、テレビ塔から南へ行くと久屋大通、あれ110メートルあるんですけど、ただし、ビルからビルまでね、道路も入れて110メートル。一番北の外堀通から若宮までは1,738メートルあるんです。「1738（イナザワ）」と覚えると、これを。ちょうど覚かりますから。ほんでわかるとるんですけど。あんだけのどこをですわ、わしは反対しとるけどね、これやり過ぎだと、全部ぶっ壊してまって道路ばっかつくつとるなど。だけど、つくってまった以上あるでしょ、これ。
- ・どうするかということで、今日だろ、今日だと思えますよ、今日、冒頭、河村さん意見言ってくれいうもんで。これ、どうすると。一説は芝生広場、仮に自然ばっかでやる。もう1つはエンターテイメントの局地。例えば酒飲み解放区みたいなもんで、50メートルブロックごとにロンドン、ニューヨーク、パリ、新宿ゴールデン街、それから月の法善寺横丁、そういうところで一杯飲んだり食ったりして、ほんで音楽があつてそこには、みんな都市を楽しむというの。わしはこっちの、申しわけないけど。
- ・まあ自然は、典型的に言うと天白区で相生山って昨日ミーティングでやってましたけど、あれ道路とめたんですよ。あれ日本で初めてだ言っていましたよ、あんだけつくったのをとめて自然にするわけだけど、そういうところはやってくんだけど、やっぱり。これ僕らの考えね、議論すりゃいいんだけど、やっぱ都会というのは一杯飲んで楽しむと、都はるみでもあれでもいいですよ、世界的にいやセリーヌ・ディオンのかああいうのでもええですけど、クラシックでいうとドミンゴだとか、ああいうコンサートが名古屋でしょっちゅう行われとるといような、やっぱり楽しめるまちもつくらなかと力んどるんです。それを議論してちょということになってますんで、もしよかったらここに意見を。
- ・ただし、JC（青年会議所）の会合がありまして、3カ月か4カ月前に。そこで、今と同じテーマです、テレビ塔より南をどうするかという議論があつて、ボーイズ・アンド・メンは芝生広場、SKE48、こっちは楽しいとこつくってほしいということがあつて、採決が行われまして、6:4でやっぱり楽しいほうが勝ちました、これは。これは事実。だで、わしは若づくりしとるけど70だもんで、やっぱね人生ちょこつとは皆さんのお役に立ちながら、朗らかにお互いに生きてかないかんで、僕は。
- ・日本で一番行きたくないまちナンバーワンを2回も続けとるような名古屋ではいかんがね、それでは。産業の力が弱まると福祉もだめになっちゃうんですよ、これ。だで、わしはどえりゃあおもしろいとこにしようと言ってますけど、今議論が始まったところで、皆さんの意見をぜひ寄せたってちょうだい。

【コーディネーター】

- ・市長、続きは都市像 5 でお願ひします。

【市長】

- ・はいはい。
- ・あとは、名古屋の緑の話ですね。
- ・グランドデザインなんかの話は、今も話ししてきましたけど、せつかく街路樹日本で第 2 位ですけど、やっぱり印象が薄いのではないかんもんで、ちょっと今のグランドデザインは検討というか、ちゃんとやりますんで、言っときます。

【5 人目】

- ・クスノキ引っこ抜いちゃうんですか。久屋大通公園の 2 キロにわたってばーってあるクスノキ、あれ。テレビ塔から南側のエンゼルパークの。

【市長】

- ・立派なクスノキがね、あれ戦後植えた。やっぱ引っこ抜いてはいかんでしょ、それは。そりゃ、楽しいところつくるにしても、そうやってできんことないですから、いろいろ。大事な木は。

【5 人目】

- ・私、白い街・名古屋は、愛の広場からテレビ塔を見たときに、テレビ塔が真っ白だったんですよ。だから、石原裕次郎これ歌ったんだなと思いました。

【市長】

- ・優しいね。
- ・あと、石原裕次郎側の反論は、白い街というのは、白いキャンバスのように何でもこれからいろんなことをつくっていけると。焼け野原になっちゃったからですわというふうに言ってますけど、わしも子どものうち覚えとるけど、何を言っとるいって。本当に白いですよ名古屋は確かに、そう思っただけですと。空は広いです、そりゃ道路が広いから。だけどね、やっぱ白いイメージがするな、コンクリートの。

【5 人目】

- ・私も、名古屋生まれじゃないんですけど、すごくすてきでしたよ。緑色と白と青。

【市長】

- ・優しいがね。

【コーディネーター】

- ・市長、あと、6 人目の方から先ほどいただいた、街路樹を守るときに地域の役割もあるんじゃないかと。

【市長】

- ・これ、あるんですけど、一応。街路樹はね、公園の場合は。街路樹もお願いしてええかね、これ。

【コーディネーター】

- ・街路樹上ってというのは危ないですから、下周りのお水をあげるとか落ち葉を拾うとか、そういう日々のちょっとした管理ですかね。

【市長】

- ・一遍ちょっとやりますけど、ミスター街路樹とかミセス街路樹で楽しいですよ。そうすると地域の方が競って大事にするがね、花も植えるがね。だけど、危にゃあいう話が出てくるわな大抵、これはやりかけると。だけど、わしは、もしやってもらえるんだったらそのほうが。そんな請負でばーやってく人よりよっぽど心がこもると思いますね、これ。どうだい区長。

【区長】

- ・街路樹は、交通安全の問題もあるのでなかなか、街路樹を維持管理してくれというのは難しい部分もあるとは思いますが、日常の清掃とかは地元の方にご協力をいただきたいと思っています。

【市長】

- ・一遍、せっかく西区で出たんだであんたんとこから、モデル実施してちょ西区で。

【コーディネーター】

- ・前向きにご検討ください。

【市長】

- ・いやいや、それええこと出たんだもんだで。

【コーディネーター】

- ・プロがやるところと地域の方がやるところとね、そこは仕分けしながらということなんでしょうね。

【市長】

- ・水くさいことばっか言わず。

【5人目】

- ・子どもたちでもいいですよ。

【市長】

- ・子どもでもええですわ。

【コーディネーター】

- ・子どもたちが環境学習を兼ねてというのはあるかもしれませんね。

【区長】

- ・花壇のようなものは、お子さんが植えていただいているところもありますので、そういったものを広めていけば考えられるかと思います。

【コーディネーター】

- ・そこの弁天通は、ちなみにトワイライトの子どもたちがお花を植えたりしてやってらっしゃいますよね。ああいうのはいい取り組みですよ。

【市長】

- ・西区の区長がやってくれるそうですから。

【コーディネーター】

- ・それでは、第3ラウンド、都市像5「魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち」ということで、これは産業全般のお話から観光も含め、さらにはスポーツ、プロモーション、名古屋城、そういったところがキーワードとして関連してくるところかと思います。
- ・それから、第3ラウンドは都市像が1つしかございませんので、改めて1から4に戻っていただいても結構ですし、全体を通じて特にこういうことを質問したいということがありましたら、特にテーマは問いませんのでご自由におっしゃっていただければと思います。いかがでしょうか。ぜひ遠慮なく挙手をお願いいたします。
- ・どうでしょうか、よろしいですか。よろしかったらぜひ一言。
- ・お願いいたします。

【7人目（西区）】

- ・市長が肝入りで名古屋城天守閣木造化の話はあるようでございますけども、ちょっと残念なのは、今のところ文化庁の正式な許可がまだおりていないということで、ちょっと停滞しているようなことございますけども。今現在、コンクリートといいましょうか、これについてやっぱり50~60年、学校の校舎もしかりでございますけども。
- ・先日、実は京都へ行きまして、東寺に行きました。東寺の五重塔というのは60何メートルですかね、日本一の高さだそうでございますけども、千数百年前に建てられてから3度火災に遭っておって、今のものは江戸時代ということだそうでございます。名古屋城も1600年に建てられまして、昭和20年の5月14日ですか空襲で焼けたということでございますけれども、戦後14年の間に今現在の天守閣ができておるわけでございます。いろいろ障害者の方からも、もう少しそれなりに配慮した建築方法というのも再三

見るわけでございますけども、現在の鉄筋コンクリートの建物でございますけれども、東北のほうにエレベーターがございます。

- ・先日京都に行った、もう1つ三十三間堂に行きましたところ、小学校の修学旅行で行きましたときの三十三間堂と今日行きましたときの三十三間堂、全然違うんですね。つまり、どういうことかといいますと、三十三間堂に入るのに本当のウェルカムといいたいでしょうか、鉄筋でその際につくられて、そのまま下足を脱いでじゅうたんの上をずーっと中に入れるというんでしょうかね、そういうようなことで。結局、昔のものはもちろん残してありますけれども、現代の観光客を迎えるような体制づくりをしておるということでございます。
- ・今度、木造になりました場合にどのような形になるのか、あまりこちらでもCGで見たぐらいで承知していないんですけども、今度東南隅櫓が日常的に開放されるということでございますけれども、もう少し、平成なら平成の天守閣といいたいでしょうか、つまりテーマパーク的な意味合いがあるんじゃないかなど。もちろん、設計図があったということで忠実につくるということも決しておかしくないことでございますし、いいことだと思いますけれども、やはり1600年の、400年前のお城というのは、言ってみれば戦のためのとりでという意味合いがあったと思うんですけども、現在は、先ほど来からずっと出ております観光客を迎えるための1つのテーマパーク的なものは名古屋にはどこにあるのかと。熱田神宮だとか東山動物園だとかあるかもわかりませんが。
- ・私が現役のときに、グループ会社の会議があったときに持ち回りでやったんですけど、名古屋の当番のときにどこへ案内しようかということで困ったんですけども、結果的には明治村へ案内したんです。明治村へ行きましたところ、皆さん本当に喜んでみえたということで、ここにこういうものが残っておるのかということであったんですね。ですから、そういうことで、観光客が、リピート客が行けるような形での1つの構築物というのも決しておかしくないんじゃないかなど考えておりますから、ぜひご検討いただければと思います。
- ・以上でございます。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・お願いいたします。

【1人目】

- ・よろしくお願ひします。
- ・私のほうは全く考え方が別で、名古屋城の建築、図面に基づいた再現を絶対にやり切っしてほしいという思いなんですよね。というのも、1つこれをやることによって、ほかの地域も城の再建をしたい、名古屋城をもとに。うちももう今石垣だけになっちゃったけど、お城を建てたいというプロジェクトが出てきてもおかしくないと思うんですよね。なので、そこの1つやり切ったというのを名古屋でつくったほうが求心力になって、名古屋の発展の1つの抜けるための指標になると思うんですよね。なのでぜひ、石垣の問題はいろいろあるとは思いますが、なるべく再現に基づいた形で名古屋城が完成

することを祈っております。

- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・お二方から少し違う角度で。ただ、いずれも名古屋城を求心力の高いもの、喜んでもらえるもの、そういったものにつくり上げていこうというところは共通の方向性なのかもしれないですね。
- ・まだご発言ない方からでもよろしいですか。すみません。
- ・お願いいたします。

【8人目（西区）】

- ・今映像にも、生き物と共存しているまちということで案内があったんですけど、市役所にも、子どもたちが研究に来て生き物を大事にするまちづくりというのを広報で案内されていたりするんですけど、ぜひ私は犬猫を殺さなくても済む社会を現実にしてほしいと思っているんですね。その中で3つ大事なことがあると思っています。
- ・1つは、30年ほど前とは全然今違って犬とか猫とかすぐ手に入る時代で、飼育放棄とかそういう問題もありますので、ぜひ10年後20年後30年後のことを思って子どもたちに情操教育、命の大切さ、飼育放棄ゼロということを情操教育としてほしいということ。
- ・2つ目は、これは国なんですけど、頻繁に悪徳業者、ペットショップとか繁殖業者とかすごい多く闇の中であるんですけども、そういうものの法律改善とか播種飼育型といって、生まれてすぐ子どもを母親と離さないという法律も大事だと思います。
- ・3つ目が、行政のお願いなんですけど、今名古屋は犬に限っては殺処分ゼロで2年間来ています、すごいすばらしいことだと思います。国全体では5万頭の犬猫が去年でも殺されてしまっているんで、今名古屋が、愛を知る愛知から日本の見本となるようなチャレンジをいろいろしていただきたいと思います。
- ・私としては、足りない頭で考えたんですけど、ちょっと発表させてもらいたいと思います。
- ・動物園に飼育したりして、展示して里親を探したり、その後、譲渡ボランティアがすごくたくさん名古屋はあって、それのおかげで今ゼロになっていると思うんですけど、従来どおり愛護団体に引き渡してお願いするというのと、愛護センターが犬猫飼育施設、ドッグランを兼用するなどして、運営して、その譲渡先を見つけるという、今もやっているんですけど、もっと。殺処分をなくして、全て犬猫譲渡という形にしていけたらと思います。
- ・一例で、マルコ・ブルーノさんという、オーストリア人の方ですけど、20歳から日本に来てもう30年以上日本にいますけど、この方が「幸せな捨て犬ウォリ」という本の中で、「犬や猫に限らず、命のあるものとしか見ない日本の行政や今の日本の青少年の心の荒廃は、こうした動物蔑視、いのちの軽視に原因があるのではないかと考えている」ということで、例えばですけど、それぞれドッグシェルターとして活用して、自分の存在価値が見出せず人間不信で社会に出ることができない若者と捨て犬たちの自

立支援プログラムをつくったり、会社でもパワハラとか人間関係とか鬱病になる方がたくさんいらっしゃるの、企業として犬を飼うということで、経費は会社が持って誰か代表者が1人飼って、会社に一緒に出勤して一緒に帰るみたいなプログラムとか、ドッグシェルターでの犬の避妊とか去勢、そういうのは動物実験で、動物愛護の問題がありますので、新人獣医師さんが練習のために避妊手術するとかそういうので無償もしくは費用を低価格で行うとか。増えなければ、やはりそれは命を守ることになりますので。そういったことの、私の足りない頭で考えたので本当にあれなんですけど。

- ・あと、今は3人に1人が高齢者の時代になって、譲渡は大体60歳以上は不可なんですね。今は70、80、90まで生きる時代なので、そういう人たちのフォローで譲渡ができればすごく譲渡犬や猫が増えると思いますし、もう一回高齢者が増える時代が来ると思うので、そういうのも本当に考えてほしいなと思います。

【コーディネーター】

- ・そのあたりでよろしいですか。大丈夫ですか。
- ・あと、もし言いたいところがありましたら一言。

【8人目】

- ・はい。すみません。

【コーディネーター】

- ・準備していただいてありがとうございます。
- ・動物愛護、命の大切さ、情操教育についてというそんなところを、かなり具体的なご提案も含めていただきました。
- ・まだもう少しお時間。
- ・お願いいたします。

【6人目】

- ・同じ声ばかりで申しわけありません。
- ・さっきの1人目の方でしたか、私も全部受けとめているんですけども。私は名古屋出身ではないので、名古屋って本当にいいものがいっぱいある。例えばお城の図面が残っていて、それをもとに何とかできるなんていうのはそうそうあることではないと思うんですね。それから、ペットの無駄な殺生はしないとか。それって、本当にPRのしどころだと思うんです。
- ・私、名古屋城がヒノキのにおいのする、オープンのおきに見せていただいたんですね。そのときにちょうど外国の高校生ぐらいの子がいて、案内をしていらっしゃるボランティアさんかガイドさんだったと思うんですが、とっても熱心に名古屋の開府400年の歴史を綿々と説明していらっしゃるんですけども、高校生はちょっと違った興味で来ていたみたいだったので、「いいにおいがするでしょ、この木のにおいいいでしょ」って後ろからちょっと邪魔をしちゃったんですね。そうしたら、北欧のような感じのお嬢さんでして、こういうにおいを私たち喜ぶんだよという話で。

- ・何が言いたいかといいますと、要するに受け入れたい、迎えたいお客様のことをもう少し、なかなか大変なんですけれども、こっちの都合を通したいんですけれども、そういうのを吸い取るような工夫。例えば向こうのガイドブックとか、向こうの旅行会社とか、そういう生々しい声を現場で行政にかかわっていらっしゃる方に提供して差し上げるというプロセスがもう少しあってもいいんじゃないかなってすごく思います。
- ・本当に一生懸命やってくださっていると私は思います。西区のモニターをさせていただいて、ひしひしと感じています。でも、それが報われないなと思ってらっしゃるんじゃないかなという雰囲気もすごくするので、もう少し市民力とか周りにあるものを利用なさったらいいんじゃないかなと思います。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございます。
- ・少し予定より早いので、もうお一人お二人でしたらお受けできると思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。
- ・じゃあ、ここで第3ラウンドを区切らせていただこうと思います。
- ・4名の方からいただきました。最初7人目の方から名古屋城のお話についてですね。少し今取り組みが停滞しているんじゃないかということで、いろんな方に喜んでもらえるようなテーマパーク的なあり方も、障害者に配慮しつつあってもいいんじゃないかというお話でありました。同様に名古屋城について、1人目の方からやはり再現をやり切って、中途半端ではなくて、きちっと求心力を持てるような、その後他の都市にも波及効果が及ぶような取り組みをぜひ進めていってほしいという。お二人、名古屋城の話です。
- ・8人目の方からは、動物愛護の点、命の大切さを子どもたちに情操教育として取り組んでいくと、そんなところについて具体的なご提案もあわせていただきました。
- ・最後、6人目の方からは、市民力を生かしながら、もう少しお客さんのニーズに応じたおもてなしみたいなこともやっていってもいいんじゃないかというお話とか、いいところたくさんあるよというお褒めの言葉もいただいた気がいたします。インバウンドに関するご意見と考えてもよろしいんじゃないでしょうか。
- ・それでは、市長、お願いいたします。

【市長】

- ・まず、7人目の方の木造というやつですけど、これはやっぱり木造で本物というか。エレベータつけますとね、11人乗りをつけてちょっと言ってますけど、そうすると柱が10本、梁30本とらなかんのですわ、これが。ほうすると、中がもたんようになって鉄骨で組まないかんようになる。そうになると、いわゆる許可ならんちゅうのか、文化庁のいう歴史的建造物の復元に当てはまらないことになるであろうと思います。
- ・ヨーロッパと日本の文化の違いは、日本は燃えちゃうんですわ、何もなしになっちゃう。ヨーロッパは、戦争でひどい目に遭ってますけど一応残るんでね、れんがとか石だから、これは。ほんで、そこの上につくると、同一性についてイメージが浮かびますけど、日本は燃えちゃうもんで。反対論者なんかは僕に、燃えてまったと、ほんだで名古屋城は

それからつくるんだったら新築だ言うわけです。だから、新築やったらツーバイフォーや建て売りと同じでエレベータをつけよと言う人いますけど。

- そこに対しては、文化庁は歴史的建造物の復元というちゃんとジャンルを保持して、条件があるんです。1つは、いわゆるそんじょそこらではいかんと。かつて国宝であったり重要文化財であった建物はなくなったこと、1つは。もう1つは、ある真上につくること、名古屋城の真上につくります。もう1つは、梁なんかを変えずに、いろんな資料によって同じものをつくることです。こういうふうに3つ当てはまると、ああいう巨大な、世界最大の木造建築物ですけど、ああいうのをつくるのが建築基準法3条についての例外というか、適用除外になってできるんです。ただし、防災には配慮してくださいよということにあり、これは焼けたわけじゃないけど姫路城にもスプリンクラーはあるし消火栓はある。そういうことになってますんで、やるんだったら本物復元じゃないとそもそも許可にならん可能性がありますね、これは。
- それと、やっぱり万里の長城やらいろんなところはちよこつとあるんですけど、本質部分で。沖縄の首里城もね、本質部分は昔のままです。その横のところにエレベータがついてますけど。だから、本質部分は変更しちゃやっぱりいかんと思いますよ、僕は。1,000年大事にするということ。
- 世界コンペをもうすぐやります、階段を上がってく技術、これ。車椅子で上がってくのか、人力をサポートするのか、相当話題になるだろ言われてますけど。普通の家でも2階へ上がっていけるようにですね、足の悪い人が。そういうような技術につながりますので、そちらを挑戦するというようになって、これは世界初の挑戦になりますので。
- エレベータ、エレベータということで、今でも上まで上がれませんし、5階までしか。エレベータで上がったところが本物性の全くないところだったと、これらですね。こうなると一体何なのかということがありますね、これは。だで盛んに言っとるんですよ、これ。そんなことなら今のままでええがやって。世界の大恥になりますけど、こんだけ図面がそろってってということでございますので。大分進んで。なかなかいろいろあつて疲れますけどね、これも。まあ間違いなく世界の宝になりますよ、これ名古屋は。この木造天守閣ありませんから、図面に基づく復元は世界中に一個だけと。よう図面描いてくれたじゃない、昭和7年だけと。
- その図面はね、本丸御殿の中に70枚実は避難しとってくれた絵があるんです、空襲のときに。表裏140面。それ国宝の絵ですけど。それと同じところへ置いとってくれたんです、やっぱり図面も燃えないよということ、後世の人が本物やっぱりつくってちょうよと、尾張名古屋はと言ったじゃないかと、僕はそれ一番感じると。そういうのってやっぱり自分らの子どもたちに受け継がれてきますよ、本物というのは。年配の方は大事にせなかと。だで、今の1人目の方の話でございますけど。必ず喜ばれると思いますよ、そのほうが。ええ工夫ができましたねって。
- 今、後ろに背負ったり、かごみたいなもんで金毘羅さんみたいに上がってくのありますよね。ああいうのでどうだ。かえってそのほうが人間がおるから安全なんですよ。エレベータで火事になっちゃうと死んじゃいますよ、これ中で。安全だし、コミュニケーションがとれるし。
- その筋力補助のすごい工夫があつて。この間わしやりましたけど、ひじなんかはふー

っと上げられる、無重力状況。腰も上げれます。ただ、ひざがないんですわ。ひざができると、それをつけますと背中にしかるべきちゃんをつけて、きちっとね。乗りやすいようにしてく、それでふーふーと上がってくようになるのかということも必死になって考えとりますのでということでございます。

- ・8人目の方の犬猫については、ちょっとぎょうさん言われたんで、一遍何ぞ具体的な案をちょっと書いていただいて。犬は殺処分ゼロになってますけど、猫はなかなかできんし。猫も去勢といいますか避妊手術するかというのは大きい問題で、私国会議員時代のときこれ結構やっと思ったんですけどね、なかなか獣医さんとの問題もあってうまいこといかんかったんですけど、おっしゃるとおり名古屋はここまでやってきましたんで、犬猫初めての殺処分ゼロということになると、まあええと思いますよ、これなかなか。温かいと思います。そりゃ犬猫ですけど、人間の命も大事にするということになりますから、これ当然のことながら。だで、後でちょっと。ようけ言われたのでメモできなんです。また文章で書いてちょうだい。
- ・6人目の方ですけど、名古屋もええもんがあるということでございますが、お客さんを迎え入れるプロセスというか、温かいものもいいね、これ。だけど、これは名古屋はあるんですかね、区長。名古屋の人というのはお客さんをです。これ、前ちょっとね、あれは大阪のテレビ局の人間が言った、子どもが小さい人間で、車椅子かなんかで地下鉄に乗ると、名古屋の人はぶっきらぼうだでいかん言っていましたで、これ。やっぱハウアーユーでもアイラブユーでもええけど、やっぱりちいとよそういう雰囲気はにゃあのかいって大阪のテレビ局のやつが言った。大阪のおばちゃんらは結構声かけるらしいですわ、これは。ほんだで、西区から一遍やってもらえんか。

【区長】

- ・よその都市へ出張なんかで行くと、やっぱり札幌とか神戸とか、そういうところは観光を非常に大事にしているものですから、よそから来た人に対する態度が名古屋とは違うということを感じます。名古屋は多分観光に力を入れなくても、ほかの産業でやっていけるという歴史があってこういうふうになっているんじゃないかと思うので、ちょっと意識を変えないといけないところじゃないかなとは思いますが。

【市長】

- ・それと、子どもにはみんなで声かけよまいう運動やったほうがええと思います。子どもに、ハウアーユーでいいんです、アイラブユーで。日本語だと敬語なんかでやりにくいで。ハウアーユー言うと、子どもたちみんな答えますよ、ハウアーユーとか何とかいって。そういうようなどこからスタートになってく。西区がええんか、ちょうど仲ええでみんな。西区が一番ふさわしいんですよ、そういうことやるのは。

【コーディネーター】

- ・西区は仲いいんでしょうかね。

【市長】

- ・西区は仲ええですよ、みんな。ほんだで、子どもに会ったらみんなハウアーユー言って英語で語りかけると、これおもしろい。どうだ。

【区長】

- ・キャラクターの問題もあると思います。市長と歩いていると、よく円頓寺なんかでハウアーユーと言いながら歩いているのはよく見かけますけど、私、ちょっとその度胸がいまいちなんですけど、頑張ります。

【コーディネーター】

- ・先ほど、名古屋城のボランティアについてはお褒めの言葉もいただきましたので、おもてなしも大事かもしれないですね。
- ・お願いいたします。

【企画調整監】

- ・犬猫の問題、ご指摘をいただきましてありがとうございました。
- ・市長がおっしゃるとおりで、何とかゼロにしたいと思っております。犬につきましては平成 28 年度からゼロ、猫につきましては 76 匹まで来まして、平成 27 年のときは 705 匹処分しておりましたので、2 桁までまいりましたので、これは何とかゼロにしたいと思っております。市民の皆様からの寄附金もたくさんいただいておりますので、そうしたことも活用しながら、何とか早目にゼロにしていきたいと思っております。
- ・先ほどちょっと久屋大通の関係のご質問を頂戴したもので、テレビ塔の関係もありましたので、少しだけ回答させていただきたいと思っております。
- ・久屋大通につきましては、北からテレビ塔までとテレビ塔から南のエリア、分けて考えております。市長が申し上げた南のエリアにつきましては、今年バスターミナルをとにかくオアシスのほうにどかしまして、バスターミナルの部分があきますから、ここをまずどうするかという議論をしております。
- ・それから、北からテレビ塔までの間につきましては、民間の事業者を決めまして、今年から工事を開始することにしております、たしか。そして、平成 32 年度までかけまして工事を、特に北のエリアについては非常に暗い、怖いという形もおっしゃっていただいておりますので、その辺をどうするかということ、工事をやりながら。まずテレビ塔までをやりたいと、こんなような状況です。
- ・ですから、それに伴いまして、テレビ塔の点灯につきましても、工事の関係がありますので少しとめさせていただくと、このようなスケジュール感でございます。

【市長】

- ・テレビ塔の照明も、あんな真ん中にひよろひよろっとならただけで、ああいうとこでけちるないの、そんなもん。やっぱ東京タワーでもそうだけど、みんな質感があるから、両サイドからずーっと見えるようになってるんですわ。あれ見ると、何かよう人生寂しなってくるんです、あれ。
- ・あれ言っとったぞ、オープンのときに。

【フロア】

- ・リバーパークも、あれば一って明かりつけちゃったほうがいい。

【市長】

- ・リバーパークいうとテレビ塔の南のそこかね。北か。あそこも、何かようわけわからんけど。
- ・あっちは自然型で子どものキャンプ場にしやええが思っったんだ、本当は。都心でキャンプすると、子どもたちが。そのかわり、テレビ塔より南は酒飲み解放区ということで、むちゃくちゃおもしろいところ。音楽があつて、飯があつてと、俺はそう言っったんだけどな。そういうふうになれへんでかんわ。学者やなんか入っていろいろやるとね、だんだん無難になってってまうんですよ、これ。

【企画調整監】

- ・いずれにしろ使いにくいものですから、久屋大通については、大都市の中でもあんな久屋大通のようなものが面積的にあるところはないものですから、札幌の大通りもありますけども、名古屋ぐらいですね。ですから、どういうふうにしたらいいか、少し悩みながら考えております。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。

【企画課長】

- ・前半の部分で外国人の関係のお話が幾つかありましたので、私から、外国人の施策に関して少し補足させていただきたいと思います。
- ・名古屋市としましては、外国人の住民がかなり増えてきているという状況は、先ほど冒頭でもご説明させていただいたように、それをどのように捉えてやっていくかということで、私ども今回戦略2に多文化共生の推進ということを掲げさせていただいております。これは、1人目の方からご意見もありましたけれども、外国人との、どのような政策というのは国のほうで国策としてある程度、法制度も含めて、どのように整理されていくのかというのを注視していく必要があるかと思っておりますけれども、基礎自治体としての名古屋市としては、外国人の住民、インバウンドを含めた観光客としての外国の方が多数みえている状況の中で、やはり多文化共生を進めていくということが基本の考え方でございます。その上で、都市像であり戦略というものを掲げさせていただいているところでございます。
- ・個々の事業とか施策みたいな話でいきますと、やはりごみの出し方とか公園ですとか、そのあたりはやはり外国の方にとっても恐らく同じ思いであろうかというのもありまして、やはりコミュニケーションといいますか、地域の皆様方とのいろんな意思疎通みたいなところ、あとは外国人のいろんな相談、情報提供とかそういったところを国際センターとか、あとは各区役所さんも、外国人との多文化共生推進ということのモデル事

業みたいなのも中心としてやらせていただいたりしております。

- ・あとは、私ども今回計画をつくるに当たっても、この中間案をつくる時にも、タウンミーティングということとは別のいろんなチャンネルを使って、外国人の方に登録していただいているモニターみたいな人たちと懇談会みたいなものを行っているのがありまして、そちらで外国の方のいろんな細かいニーズとか困り事みたいなものを伺う機会を実はやっておりました。
- ・今回の中間案をもとに、また機会を捉えてですけど、来月とか来年になるかもしれませんが、個々にまた外国の方のお話も聞きながら、今日伺ったお話もあわせましてどのような形で進めていくか、個々の施策とか事業の取り組みを、外国人施策について取り組みを進めていくかみたいなことを、総合計画に最後どのレベルで落とし込めるかあれですけども、関係局ともあわせましていろいろ検討させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・それでは、最後になりますが、改めまして区長さん、市長さんからそれぞれ一言ずついただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

【区長】

- ・本日は、お忙しい中、最後までタウンミーティングにご参加いただきまして、また、たくさんの貴重なご意見、ご提案をいただきましてまことにありがとうございました。
- ・本日いただきましたご意見でございますけれども、市役所の本庁でつくっております次期総合計画に役立ててまいりますのはもちろん、次期総合計画の内容を受けまして区としても区の計画を立てなければならないと考えておりますので、またその参考にもさせていただきたいと思っております。
- ・また、個別具体のご意見、ご提案につきましては、関係部局に報告するとともに調整させていただきまして、また日常の区政運営に反映するように努めてまいりたいと思っております。
- ・西区は、名古屋言葉で「も一やっこ」というのをキーワードに区政運営を進めております。皆さん「も一やっこ」という言葉はご存じでしょうか。名古屋弁でございますけれども、みんなで仲よく分け合うという意味でございます。区民の皆様と力を合わせて、みんなで助け合いながら元気で住みよい西区をつくってまいりたいと考えております。また、皆様に信頼される西区役所をつくらせていけるように職員一丸頑張っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。
- ・本日はまことにありがとうございました。

【市長】

- ・それでは、すみません。ありがとうございました。
- ・これ、いろいろ意見が出てきますんで、結構ありがたいもんですわ。
- ・問題は、あんまり内幕言っとっていかんですけど、ここで言うでしょ、部局に。そうす

ると、これが変われへんのですわ、これ。そんなこと言うと身もふたもないようなことですけど。みんな担当になっとりまして、大体 2、3 年しかおらんのですよ、役人というのはその担当に。そうするとね新しいチャレンジ、全然やらんわけじゃないけど、家庭訪問できん言っところでもう話にならんのですよ、本当に。基礎ですわ、お客さんのところへ訪ねていくっちゃうのは。だで、ぜひ。そんなこと言っらずに精いっぱいやりますんで。

- ・特に言われた子どもさんの話ね、これは一番巨大な話です、これは。画一斉教育から離脱して、一人一人の子ども的人生を応援していくと。こういうふうに大きく変えられるかどうか、これが。今スクールカウンセラーではまあまあええとこまで来とりますけど、これは根本的な問題だもんだで。先生がやる気になってもらわなかん、とにかくこういう。今までみたいに黒板の前に立っって、おまえ俺らの言うこと聞けど、これはいかんのです、それでは。だで、そういう調整もやらせていただきますで。またろくでもない返事しかなかつたら、またそう言ってちょうだい。
- ・市長室にホットラインというのがありますんで、そこへ見ていただいて入れる。それはわし絶対見てますから、ものすごい来ますで大変なんだけど。私こう言ったけど全然ペケだがねいって、そういうふうに書いてくれりゃいいです。
- ・ということでございまして、ようおいでいただきまして、サンキューベリーマッチ。ありがとうございます。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・私の進行があまりよろしくなくて、十分に意見聞き切れないところがございましたが、この総合計画自体は来年度いよいよ完成するということですので、今回はその中間ということでありました。いい計画にしていくために、ぜひ皆さんに関心を持ち続けていただいて、この計画がどう成就していくのかというところを引き続きいろんなチャンネルでぜひお声を届けていただけるとありがたいなと思います。
- ・本日はどうもありがとうございました。

(以上)